



# コミュニティ しずおか

2024

4月

No.174



宿題の間違いはないかな？若和尚のチェックが入ります

## 地区の子どもにお寺を開放

お帰り寺子屋（伊豆の国市）

▼「ただいま〜」14時過ぎ、原木地区にある成願寺に下校途中の小学生が次々やってくる。「おかえり！」と迎えるのは住職と弟子の和尚さん、ボランティアの工藤さん。宿題を行う場として週3日、原木地区の子どもたちに開放している。令和3年の夏休みに5日間開催したところ、子どもたちの「もっとやって欲しい」という声に押され住職が一肌脱いだ。現在、20人の子どもたちが利用している。

▼「小学生のパワーに圧倒されてます」と微笑む若和尚。子どもの自主性を重んじて、何をどれだけやるかは自由。上級生が下級生に教える場面もあり、昔は当たり前だった光景がよみがえっている。

◇住職：相原昇明さん（問合せ・055-949-1916）

【情報提供・柴田三智子】

## Topics トピックス

ようこそコミュニティ… P2~3  
復活!子ども会（森町）

地域訪問記 …………… P6  
子ども会×中高生×地域の大人（小山町）



コミック  
のじゅぎょ・りえ





発足間もない団体を紹介します。



「おじいさんズ」がいなくなった鯉のぼりを三倉地区から集めて、三倉小学校の校庭に揚げてくれました

森町

## 復活！子ども会

### 中村子ども会

少子高齢化と過疎化に悩む自治体が多い中、森町北部の三倉地区に、子ども会が復活した町内会があるとの情報を得て「なぜ復活できたのか？」と疑問を持ち訪問しました。

子ども会の世話人で6年前に移住してきた堀尾さん、2年半前に家族で移住した地域おこし協力隊の横山さん、中村で生まれ育った町議会議員の岡戸さん、町内会長の高橋さんにお話を聞きました。

### 三倉小学校の閉校と子ども会の復活

中山間地にある中村町内会は、世帯数18戸、総人口63人。町が移住者の受け入れに力を入れ、中村地区に6世帯が移住し、子どもが計13人になりました。しかし令和3年3月、最寄りの三倉小学校は閉校になります。そこで、これまで町内会で支出していたPTA協力費を使い「子どもたちを喜ばせたい」との声が町

内会から上がりました。保護者との話し合いの結果、令和4年4月、20数年ぶりに子ども会が復活しました。

### 強力サポート「おじいさんズ」の存在

子ども会主催の行事は3つ。①春のお花見、②夏のアマゴつかみ取り、③冬の餅つき。子どもと保護者だけでなく、住民の皆さんも参加して楽しんでいます。



行事を開催するにあたり、いつも強力にサポートしてくれる7人の「おじいさんズ」は頼もしい存在です。子ども会の復活と共に結成された「おじいさんズ」は、保護者との風通しも良く、何でも相談に乗ってくれ、イベントを盛り上げるためのアイデアやパワーを子ども会に提供してくれます。倒木処理や草刈りなど町内会のために動いてくれるカッコイイ「おじいさんズ」を見ている子どもの中には、一緒に活動したいと誕生日に草刈り機をねだった子がいたそうです。

## 中村子ども会の波及効果

子ども会のイベントが増えたため、住民同士が顔を合わす機会が増えました。町内会が主催する元旦祭では、「楽しい」「美味しい」をキーワードに子どもに喜んでもらおうと豚汁やお汁粉が振舞われるようになり参加者数が増える等、町内全体に影響を与えています。「子ども会を通じて普段付き合いのない同世代の人たちとも仲良くできたら」と堀尾さん。「中村で育てて外に出た家族のかたも遊びに来てくれて交流ができたり、この子ども会が移住者同士の交流や地域へ溶け込むきっかけになったら」と横山さん。それぞれ子ども会への思いに溢れます。

## 移住者を温かく迎える

なぜ、復活できたのか？「昔から中村町内会は子どもたちのために祭り屋台を新築するなど、代々子どもたちを大切にしてきた地区でした」と語るのは中村育ちの岡戸さん。34年前に引っ越してきた、現町内会長で「おじいさんズ」連絡係の高橋さんが、新し



アマゴの掴み取り、炭火焼きで美味しくいただきました



お父さんたちも楽しい餅つき

い移住者の相談相手になってくれていること。この2つが重なったからではないでしょうか。

## 取材を終えて

取材を進める中、若い人たちに活躍の場を任せようとの気持ちを岡戸さんと高橋さんから感じました。また、移住してきた堀尾さん、横山さんからもこの土地に早く溶けこもうとする前向きな気持ちが見られました。移住者を温かく迎え、子どもたちを皆で育もうとする中村町内会の取り組みは、過疎化に悩む多くの中山間地の自治体へのこれからのモデルケースになると思います。

「過疎に悩む地域こそ、こんな良い場所は他に無いぞ!と言いながら子育てしてほしいですね」と皆さんが笑顔で語り、取材は終了しました。



左から、高橋さん、堀尾さん、横山さん、岡戸さん

◇世話人：堀尾京子さん(問合せ・080-8478-7324)  
【情報提供・山田勝恵】

レポート：峰野 勇 編集委員





# まちからむらから



南伊豆町

## みんなで手話をやってみましょう

手話サークル  
「れんげ草」



I Love Youのサインでパチリッ

▼手話表現を学び合い、自己研鑽に努めている手話サークル「れんげ草」は、「楽しく学ぶ」をモットーに笑いの絶えないサークル。2007年、聴覚障がい者への理解と交流を深め、手話の普及と実技の向上を図ることを目的に発足した。現在20代～70代の女性12人、男性4人で月3回活動をしている。

▼町内の小、中学校から手話学習の依頼も受けていて、子どもたちは聴覚障がい者の会員から、日常生活等の話を聞いたうえで手話を学んでいる。プログラムには、手話による簡単な自己紹介や子どもに人気の「パプリカ」を手話で歌う等、手話を身近に感じてもらい相互理解を深める活動をしている。また、「フェスタ南伊豆」に毎年ブースを出し、情報発信も行っている。

▼「早いうちから聴覚障がいを知ってもらうことで更なる理解につなげたい」と佐々木代表。今後は、長期休暇の時に子どもや親子を対象にした手話教室を考えている。

◇代表：佐々木優子さん(問合せ・090-6642-2589)

【情報提供・清水和子】

函南町

## 地域に広がりつつある「天池」を守る輪

あまいけ  
函南間宮天池を  
守る会

▼函南町間宮天池地区に、龍神様が棲む雨乞いの池とし伝わる直径7メートル程の小さな湧水池「天池」がある。時代と共に住宅に埋もれていき地元でも余り知られていない。そこで昨年7月に住民有志12人が「歴史的文化的価値をPRし、次世代に継承していこう」と守る会を発足した。

▼天池には弁財天が祭られていて、年3回の例大祭と清掃活動はこれまで老人クラブが担ってきたが、守る会も加わった。早速、9月の例大祭で参加を呼び掛けるチラシを350戸に配布したが反応が薄かったため、今年1月の例大祭では、地域住民への呼びかけに力を入れ、これまでになかった約50人が参加した。若い世代の姿もみられ「天池」への関心の広がりや情報発信の仕方の大切さを実感した。

▼「若い世代をどう巻き込んでいけるかが課題です」と事務局の太田さん。人とのつながりが希薄になっている今、天池を通して地域の輪をつなげていきたい。

◇代表：小林悦司さん

【情報提供・太田輝彦】



函南町の七不思議の1つ「天池」

静岡市

## 参加者主体で活動にメリハリを

おきつクラブ



仲間て日本平へウォーキング

▼清水区の興津地区にある「おきつクラブ」は、会員20人のうち19人が男性という、他ではなかなか見られない構成からなる居場所サロン。2015年、(故)菅沼社協会会長が「男性が参加しやすいサロンを興津に作ろう」と自身の友人知人に声を掛けたところ、男性が多く入会してくれた。

▼当初、大きな補助が出るS型デイでの運営を考えたが、参加者主体の活動にしたいことから居場所として開設した。月2回、第1、3木曜日に、興津生涯学習交流館で会員が講師になって折り紙を教えたり、輪投げ大会等を年間通じて行い、野外活動のウォーキング等も企画している。4月4日には静岡市歴史博物館を訪れる予定である。

▼「自由に活動が決められる為、活動にメリハリがありますよ」と杉山代表。参加者に制限は無く、家族や友人、知人を連れて来てもよい為、活動に広がりがある団体である。

※男女問わず参加者を募集中！興津の皆さん参加してみませんか？

◇代表：杉山雄児さん(問合せ・054-369-2317) 【情報提供・戸塚恵美子】



藤枝市

## 歴史とロマンあふれる岡部の案内人

岡部町観光  
ボランティアの会



大旅籠柏屋を案内する会員

▼大旅籠柏屋や宇津ノ谷峠の明治トンネル等、歴史とロマンあふれる藤枝市岡部町には毎年多くの人を訪れる。その来訪者に「郷土愛とボランティア精神」をもって案内・説明をしているのが「岡部町観光ボランティアの会」である。

▼岡部の歴史好きが集まった学習会がきっかけとなり2006年に発足。東海道を散策するグループのガイドや市内外の小学校や町内会等からの講師依頼が年間通してあり、昨年度は43件の依頼を受けた。平均年齢70歳の会員7人が充実した活動を続けている。

▼市の生涯学習講座の講師を務め、新たな仲間づくりにも取り組んでおり、この4月に講座の修了生が1人入会する。「会を維持するためにも、仲間が増えて嬉しいですよ」と鈴木代表。来訪者とのコミュニケーションがメンバーの活力にもつながっている。

※5月3、4、5日に、静岡側の宇津ノ谷トンネル前にてガイドを行います！

◇代表：鈴木一男さん(問合せ・054-667-6060(岡部総合案内所))

【情報提供・梅原 仁】

掛川市

## 「ロウバイの里」で幸せな故郷をつくろう！

花咲会

▼初馬会館の南側斜面に広がるロウバイの里に、今年は全ての木々に可憐な花が咲き乱れた。「この地をロウバイの里にしたい」ロウバイに魅せられた石川代表が、この思いを仲間たちと実現させようと、2017年にロウバイの里をつくる活動がスタートした。

▼うっそうとしていた約7000平方メートルの竹やぶを切り開き、種から育てたロウバイを500本植林した。高さ1.5メートルまで育った樹木はまだ小さく花の数は多くないが、甘いにおいに誘われ遠くから見学者が訪れるようになった。

▼現在、会員は男性ばかり22人、平均年齢71歳。月1回の整備作業には毎回15人程が参加し、もっと美しく咲かせたいと生き活きと楽しく活動している。作業後は、好きな飲み物を各自で持参し談笑するのも楽しみのひとつ。将来は、四季折々の花が咲く里にしたいと、自分たちで工夫を重ねて理想に近づけていく。

※鯉のぼりをご寄付いただける方は、現地へご持参ください。

◇代表：石川 寿さん(問合せ・0537-23-0832(魚寿))

【情報提供・加藤和男】



新たに植林しロウバイの数を増やしている

## 地域活動情報

この詳細はホームページでご覧になれます(アドレス <http://www.sizcom.jp>)



No.	市町	活動名	主催者	趣旨・目的	情報通信員
1	伊東市	認知症への理解と対応を知ってほしい！ 「チームオレンジおはな」頑張る！	チームオレンジおはな	認知症への啓発活動を推進	佐藤みつ子
2	沼津市	第一地区 三世代交流 どんど焼き	子ども会育成	地域の活性化	臼井隆司
3	静岡市	知られざる桜の名所 遊水さくらまつり	麻機学区自治会連合会	おじいちゃんおばあちゃんと一緒に桜を見ながら楽しめる場所に	瀧 昌光
4	焼津市	ちょっと気になるうちの子の話してみませんか？	きになる木	経験繋がりを活かし悩みに寄り添いちょっと元気になる場を提供	秋田いずみ
5	島田市	カラオケで心の中をお掃除！	あおぞら会	こころの憂さを晴らし、心底明るい笑顔で健康づくり	池田 弘
6	牧之原市	鯉のぼり作ってゆうゆうらんどに飾ろう会&しゅくだいやっちゃう会	勝間田絆づくり事業	ゆうゆうらんどで出会う遊ぼう集まろう	武田てるみ
7	牧之原市	ゆうゆうらんどで青空カラオケ♪鯉のぼり泳ぐ新緑のステージで歌おう！	勝間田絆づくり事業	勝間田地域を元気にするために活動	武田てるみ
8	菊川市	高校生たちJR菊川駅前で能登半島地震の募金活動	菊川市こども・わかもの参画協議会若者委員有志	高校生が主体となって、能登半島地震の募金活動を行う	鈴木貴司



# 地域訪問記

団体の継続に着目し紹介します。



お揃いのユニホームで活動するOLC  
駄菓子販売とゲームを出店



魚釣りゲームの説明をするメンバー



左から  
璃音さん、  
美優さん、  
樺恋さん

## 子ども会 × 中高生 × 地域の大人！ 未来の好循環を生む

### 小山町ジュニアリーダーズクラブなのはな (小山町)

小山町子ども会育成連合会の下部組織で、子ども会の活動をサポートする中高生ボランティア団体「小山町ジュニアリーダーズクラブなのはな (以下OLC)」。地域の若者はどんな思いで活動に取り組んでいるのか？活動を支える大人はどのように受け止めているのか？今回、中学生メンバーの樺恋さん、美優さん、璃音さんの3人と活動を支える小山町子ども会育成連合会指導育成部副部長の相原さんにお話を聞きました。

#### どんな団体？

平成14年頃、当時の役員が他市町の子ども会連合会で行われているJrリーダーズクラブを知り発足。年会費は無料(実費あり)で、町の子ども会資金で運営しています。現在20人の若者(中学生12人、高校生6人、大学生1人、社会人1人)と町子連役員の9人が支えています。

主な活動は、月1回の定例会の他、町子連の行事のお手伝い、町主催ハロウィンイベントへの参加、水鉄砲合戦やクリスマスイベントの開催等がありますが、全て自分たちで企画するのがOLCの特徴です。他にも他市町のJrリーダーとの交流会や研修会に参加し、刺激を受け自分たちの活動に反映させています。

取材に訪れた日は、町の生涯学習フェスティバルに参加しており、1回100円で3種類のゲームを楽しむコーナーでは、小さな子どもの目線に合わせ、ゲームの説明をしている姿が見られました。また、この日の売り上げは能登半島地震に寄付しました。

#### 実際にクラブに入って、どう感じていますか？

中学3年生の3人に今の率直な思いを聞きました。樺恋さん「楽しいです！子どもの笑顔はどう引き出せばいいのか自分で考え行動し、実際に笑顔になってくれた時が嬉しいです」、美優さん「他所のJrリーダーと比べ、自己表現が小山は苦手かなと。新たにイベントを主催する等、発信していける力が欲しいです」、璃音さん「話すのが苦手な人も入会してほしいです。苦手意識を仲間と活動しながら克服できていけば」と目を輝かせて話す姿に感心しました。

#### 活動をがんばる若者のために大人ができる事は？

平成29年に相原さんが町子連の副会長になった時、活動に来ていたメンバーはたった4人。そこで次期Jrリーダー候補の6年生対象にチラシを配布し周知に力を注ぎ、メンバーが増えていきました。そんなある日、「毎年役員(大人)が変わると、私たちは混乱してしまう！」と子どもたちから言われます。「子どもたちとの信頼関係が大事」と相原さんは子どもたちの思いに寄り添い、役員終了後も継続して支える事を決めました。

また、活動によって人間的に成長した成果を視覚化したいと、昨年、小山町子ども会育成連合会公認の「子ども会活動の認定証」を発行。進学や就職する際に自身が活動したことに誇りを持つようにとの心遣いが含まれています。

#### 若者がいつでも帰って来られる居場所の1つになれば...

OLCに卒業の決まりはありません。昨年大学を卒業し現在社会人のリーダーは全体の指示役として中高生のよきお兄さんとして関わり続けてくれました。そしてこの大学生を育てたのは、現在30代の東京在住の元メンバーといいます。町を離れてもOLCでの活動の思い出が、彼らの心の居場所を作っています。

Jrリーダーとして、研鑽を積んだメンバーが親になり子ども会に携わった時どのような活動をしてくれるのか楽しみです。この活動を通じて、地域の若者と大人の信頼関係が「ボランティア活動の楽しさ」「居心地のよさ」につながり、さらには若者たちの「地元でのよき思い出」が未来の地域づくりのヒントの1つになるのではないかと感じました。

◇OLC代表:加藤杏梨さん

(問合せ・090-4083-3470(相原さん))

【情報提供・秋田未来】



レポート: 矢野さちこ 編集委員



## コミュニティ・フォーラム2024を開催しました

# 再発見！コミュニティ活動の可能性

2024年2月17日（土） 10：30～16：00 富士市ロゼシアターにて、3年ぶりに1日通しのプログラムで開催したコミュニティ・フォーラム。「人は集まるのだろうか？」の不安をよそに、県内各地から235人の参加をいただきました。当日は能登半島地震義援金21,870円が集まり、2月28日に静岡県社会福祉協議会へ寄付をしました。このフォーラムの様子は、YouTubeにてご覧いただけます。



←当協議会  
YouTube  
ちゃんねる

### 令和5年度 コミュニティ活動賞 表彰

優秀賞3団体、優良賞4団体が表彰されました。優秀賞の団体は、事例発表で、活動紹介をしていただきました。



### 基調講演

常葉大学名誉教授の山田辰美先生から「地域の自然と文化でコミュニティづくり」の御講演をいただきました。



### パネルディスカッション

当協議会推進専門委員の川口良子先生のコーディネートで、3人のパネリストの皆様、コミュニティ活動の活性化に向けて、若い人たちと連携した取組などについて熱く語っていただきました。

能登半島震災義援金に  
ご協力いただき、  
ありがとうございました！



### アトラクション

沼津市の地域団体「夢倶楽部あしたか」さんによる素晴らしいパフォーマンスが会場を沸かしました。



### 常務のつ・ぶ・や・き

昨年、日本で生まれた赤ちゃんは過去最少の75万人余で、2016年に100万人を割ってからわずか7年で22%も減った。将来、コミュニティを維持できるのか不安が募る。

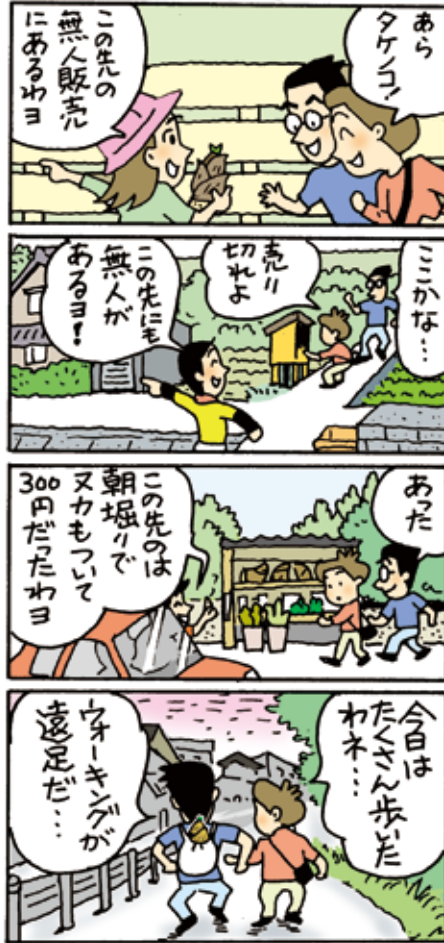
2月のフォーラムでは、子どもたちが地域の自然やお祭りなどの伝統文化に触れる機会を通じて、自然大好き、ふるさと大好きな子どもを育てようという基調講演や、地域のために頑張る祖父母世代のカッコいい姿を子どもたちに見せて、いつか故郷に戻ってこようと思う若者を育てていこうなどのディスカッションもあり、共感することが多かった。

今回号でも、地域の大人が子どもたちを応援しようとする熱い気持ちの伝わる話題が多い。子どもは地域の宝。みんなで見守り、明るく元気に育てたい。



# コミン家

のりづき・りえ



地域情報をお寄せ下さい!

## 静岡県コミュニティづくり推進協議会

〒420-0856  
静岡市葵区駿府町1-70 総合社会福祉会館3階  
【TEL】054-251-3585  
【FAX】054-250-8681  
【URL】<http://www.sizcom.jp>  
【E-mail】[sizucom0829@po.across.or.jp](mailto:sizucom0829@po.across.or.jp)

# 地域活動に関心のある方へ!

## 募集します

※お問い合わせ、お申し込みは当協議会へ

### 活動資金の一部を助成します!

### ★コミュニティ活動集団育成事業

#### 趣旨

この事業は、人々が協力し合って住みよい地域をつくるために活動する集団を「コミュニティ活動集団」として2年間指定し、活動に必要な経費の一部を助成することによって、地域の先導的役割を担う活動集団の育成支援を行うものです。

**指定の期間** 毎年度4月から次年度3月までの2年間とします。

**活動経費の助成** 募集集団数15集団。活動経費として1集団当たり、初年度7万円、翌年度3万円を助成します。

**活動集団の指定** 申込みに対してその内容を審査し、指定します。

**募集期間** 4月中旬～6月中旬



指定が決定した団体は、より良い活動となるよう専門委員からのアドバイスが受けられます。

余裕をもってお申し込みください!



## に団体の活動やイベント情報を掲載しませんか?



【「まなぼっと」とは】  
インターネット上で、生涯学習に関する講座・イベント等の情報を収集し、一元的に提供しているシステムです。(情報掲載無料(別途通信料必要))  
以下二次元コードから「まなぼっと」についての説明動画が視聴できますので、ぜひご覧ください♪



【動画】



【「まなぼっと」HP】

問合せ: 「まなぼっと」事務局 TEL: 0537-24-9715 E-Mail: [kouza@manabi.pref.shizuoka.jp](mailto:kouza@manabi.pref.shizuoka.jp)